



第5期森林環境税では、次の**2つの事業を柱**に取組を進めることとし、**それぞれの事業内容に応じた目標を設定**します。

1. こうちの森で人づくり事業：幼保・小中学校などで行われる**森林環境学習**や「**こうち山の日**」の活動、県民に身近な場所の緑化の支援など
2. 豊かな森づくり事業：民間事業者等が実施する公共施設の木質化などの**木材利用**や、**野生動植物との共存**を図る取組の支援など

## 1. こうちの森で人づくり事業

(1) 森林環境税活用事業により目指す目標

①森林環境学習の参加者数（山の学習支援事業・環境学習推進事業）（単位：人）

H30	R1	R2	R3	R4	第4期計	R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
9,986	10,008	8,759	10,372	12,210	51,335	12,500	12,900	13,300	13,700	14,100	66,500

令和4年度の実績を起点とし、段階的に参加者数を伸ばしていく。少子化に伴い参加者数の低下が懸念されるため、学校等の訪問により事業活用校の増加を図り、目標達成を目指していく。

②森林保全ボランティア等の参加者数（森林環境学習等推進事業・こうち山の日推進事業）（単位：人）

H30	R1	R2	R3	R4	第4期計	R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
9,574	11,005	1,338	3,050	5,699	30,666	6,000	7,250	8,500	9,750	11,000	42,500

令和4年度の実績を起点とし、段階的にコロナ禍前の最大人数まで参加者数を伸ばしていく。ボランティア団体の高齢化に伴う活動の停滞が課題となるため、ボランティア団体の活性化やネットワーク強化を行い、目標達成を目指していく。

(2) 参考とする産業振興計画の目標※

①林業就業者数（単位：人）

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1589	1570	1584	1593	-	1670	1680	1680	1690	1700



## 2. 豊かな森づくり事業

(1) 森林環境税活用事業により目指す目標

①県産木材利用促進に係る事業の実施箇所数（木の香るまちづくり推進事業）（単位：件）

H30	R1	R2	R3	R4	第4期計	R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
22	19	16	12	17	86	20	22	25	27	30	124

第4期の実績の平均実施箇所数を起点とし、段階的に実施箇所数を伸ばしていく。第5期から市町村を対象とした補助が対象外となっている。R5より要領の一部改正を行い、目的が合致すれば建物用途に縛られることなく制度を利用可能とすることにより、利用増を図っている。

②森林環境税活用事業における二ホンジカの捕獲頭数（指定管理鳥獣捕獲等事業・森林環境保全対策シカ捕獲事業・第二種特定鳥獣捕獲事業）（単位：頭）

H30	R1	R2	R3	R4	第4期計	R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
564	2,146	1,821	2,292	2,592	9,415	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560	17,800

近年の県全体の捕獲実績は年間約20,000頭であり、そのうち約2,000頭を森林環境税活用事業で捕獲している。高知県第二種特定鳥獣管理計画では、年間25,000頭の捕獲を目標としており、その目標達成に資するために、森林環境税活用事業では年間3,560頭の捕獲を目指す。

(2) 参考とする産業振興計画の目標※

①県内における非住宅建築物の木造率（床面積ベース）

H30	R1	R2	R3	R4	R5	R11(参考)
17.1%	15.4%	18.4%	13.8%	11.8%	20.0%	25.0%

②県内における戸建住宅の木造率

区分	H30	R1	R2	R3	R4	R5~
高知県	92.7%	92.9%	93.5%	92.9%	93.0%	全国平均以上
全国	89.9%	90.3%	90.6%	91.1%	90.9%	



※.産業振興計画の改定により、目標数値が変更となる可能性があります。